

保健体育科学習指導案

1. 単元名「がんと健康」

2. 単元目標

- (1) がんについて、関心をもち、学習活動に意欲的に取り組むとともに、がんについて正しく理解し、自ら健康的な生活を実践しようとする態度を身につけることができるようにする。
- (2) 理解したことをもとに、総合的に思考し、判断し、表現しながら、共生について考えを深めることができるようにする。

3. 単元について

(1) 教材の位置づけ

本教材は、保健学習「生活習慣病とその予防」において、生活習慣病の一つであるがんはどのような病気か、また、がんを予防するための望ましい生活習慣とはどのようなものかを知り、さらに二次予防（がん検診等）の重要性も理解した上で、がん教育に関する様々な事象を、より身近な問題として捉えることができるようになることをねらいとしたものである。

(2) 指導方針

がんについて正しく理解することを通して、自我の確立とともに個人にかかわる事柄のみでなく、自ら考え判断する能力なども身に付きつつあるという発達の段階を考慮する。その上で、個人生活や社会生活におけるがんに関する興味・関心をもち、健康と命の大切さについて主体的に考えるとともに、科学的に思考・判断し、総合的にとらえることができるようにする。

(3) 生徒について

これまでに、「生活習慣病とその予防」・「喫煙と健康」・「飲酒と健康」の単元の中で生活習慣と病気の関わりについて学習しているが、「がん」に特化して学びを深めたことはなく、「がん」という病気については、「日本人の死因のトップ3」であることや「細胞が無制限に増殖することと転移すること」、「喫煙や飲酒が一因となること」などの学習にとどまっている。一方、身近な人ががんを患っていたり、マスメディアの影響から、「がんは怖い」・「がんになりたくない」などの意識はあるが、発症や予防・治療については詳しい知識をもっていないことが予測される。

4. 評価規準

(1) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
・がんについて、学習内容に関心をもち、課題の解決に向けた話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・学習したこともとに、自己の生活習慣を見直すとともに、がんを予防するための生活習慣を考える。	・がんの疾病概念や予防について理解することができる。また、がんの治療方法や治療方法の選択など正しく理解している。

(2) 単元の指導と評価の計画（\* a：関心・意欲・態度 b：思考・判断 c：知識・理解）

時	ねらい	学習内容	学習活動	a	b	c	評価規準	評価方法
1	1 がんの特性や原因、予防について理解を深め、自ら健康的な生活を実践しようとする意欲をもたせる。	がんの発生とがんの予防	○がんの原因にはどのようなものがあるか考える。 ○がんを予防するために今の自分に出来ることを発表する。	◎		◎	がんの原因について教材をもとに調べようとしている。	観察
	2 がんの早期発	がん検診	○がんの早期発		◎		がんの予防について、学習した知識をワークシート（ノート）に書いたり発表したりしている。 資料から課題を見つ	観察 成果物

【令和元年度高等学校モデル校 指導案】

	見の重要性について知るとともに、検診および治療の理解を深め、自らの健康生活の実践に生かせるようにする。	とがんの治療	見と検診について課題を資料から読み取り判断し発表する。			けたり、判断したり、考えをまとめたりしている。 がんの予防、検診、治療について理解したことを発表したり書き出したりしている。	成果物
--	---	--------	-----------------------------	--	--	---	-----

5. 本時の展開 (第1時)

時間	主な学習内容・活動	○指導上の留意点 ◆評価
導入 8分	<p>本時の学習目標を確認する。</p> <p>がんという病気を理解し、健康的な生活の実践を考える</p> <p>(1) 「がん」になる可能性が2人に1人であること、日本人の死因の第1位であることを確認する。 (2) 日本の主ながんによる死亡数を確認する。 (3) 沖縄の死亡率についても確認する。</p> <p>日本・沖縄のがんの現状</p> <p>(1) イメージを2人1組で出し合い、何組か発表する。 (2) 本時はがんについて、詳しく理解していくことを確認する。</p>	<p>○授業のはじめに、身近な方が、がんに罹っていたり、亡くなったりしている人がいるかもしれないが、今日はがんという病気を正しく理解する授業なので知識として理解していくことを伝える。 ○がんの現状について、日本、沖縄の現状を理解させ、生徒の興味・関心を高めると共に、がんについて学ぶ意義を確認する。</p> <p>○がんという病気が何となく怖い等のイメージでしか捉えていないことに気づかせ、がんへの正しい知識や理解への興味・関心を高める。 (事前にアンケートをとり生徒の実態を把握することもできる。)</p>
展開 40分	<p>発問：がんの原因はなんだろう。</p> <p>(1) がんの原因を発言させる。 (2) 男女の原因の違いを自由に発言する。 (3) がんの原因は大きく3つに分類されることを確認する。 (4) 細菌・ウイルス、生活習慣、遺伝等ががんの原因である事を確認する。 (5) がんは細胞分裂のときに変異し悪性化したものであることから、長生きすれば細胞の変異に可能性が高まること、また加齢により細胞を正常に保つ働きが低下しはじめることを確認する (6) 原因の分からないがんもある事を説明する。 (7) ワークシートの1を記入する。</p> <p>発問：がんは体のどこにできるだろう。</p> <p>(1) がんのしくみは細胞が変異することなので、全身にできる可能性がある事を確認する。 (2) がんの進行と自覚症状が出るまでの時間を確認し、自覚症状が出る前にがんを見つける方法をペアで考える。(挙手で発表させる) (3) がん検診受診率を確認する。 (沖縄と全国比較、日本と他国比較) (4) ワークシートの2を記入する。</p> <p>発問：がんになる危険性を減らすためにできることは何だろうか。</p>	<p>○男女の原因の違い、男女の生活習慣の違いについて考えさせる。 ○がんにはさまざまな原因があることを伝える。 ○細菌やウイルスによる感染が原因で発生するがんがある事を理解させる。 ○細胞の変異が原因である事を理解させ、長生きすることによって、変異の数が多くなるため、がんは誰もがなる可能性のある病気であることを確認させる。 ○まだ原因の分からないがんもあることを理解させる。(小児がん)</p> <p>○検診で見つかる大きさになるまでの年数を確認させ、がんの進行と自覚症状が出るまでの時間を理解させる。 ○早期発見が大切であることを理解させ、初期のがんは症状がないまま進行することが多いため、症状がなくても定期的に検診を受ける必要がある事を理解させる。</p>

<p>(1) 自由に発言させる。</p> <p>(2) PP22を見せながら、がんの危険性を減らすためのアドバイスを考えさせる。(ペアで話し合いワークシート3に記入する) 何組か発表する。</p> <p>(3) 望ましい生活習慣をおくことと検診の重要性を再確認し、今できることを自覚させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発問：がんになる危険性を減らす生活習慣とは？</p> </div> <p>(1) ペアで話し合い、何組か発表する</p> <p>(2) 答えを確認する。</p> <p>(3) ワークシートの4を記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発問：がんの治療について知っている事を挙げてみよう</p> </div> <p>(1) 自由に答えさせる</p> <p>(2) がんの治療法が3つある事を確認する。</p> <p>(3) 治療法を決めるときに大切な事を確認する。</p> <p>(4) ワークシートの5・6を記入する。</p>	<p>○がん検診の受診率のデータをみせ、日本の受診率の低さを確認し、大人になって検診を受ける事の重要性を考えさせる。</p> <p>○なぜがん検診を受けないのか、どういった人が検診を受けにくいのかについても触れ、家族の存在にも考えを及ぼせる。</p> <p>○歯科検診についても触れる。</p> <p>○細菌・ウイルスや遺伝的要因の対策についても触れる。</p> <p>○がんを予防するために、今自分たちにできることは「望ましい生活習慣を送ること」であることに気付かせる。</p> <p>○がんになる危険性を減らす生活習慣とは何かを考えさせる。</p> <p>○がんにならないための生活習慣が、がんになるリスクとどのように関係しているのか、具体的に説明する。</p> <p>○がんについてはまだ分かっていないことも多く、望ましい生活習慣をしていてもがんになる事があることを伝え、がんになったのは悪い生活習慣や検診を受けなかったためだという印象を持たせないように留意する。</p> <p>○がんの治療法3つについて理解させ、組み合わせて行う治療についても説明する。</p> <p>○がんに罹っても、現代は「がんとともに生きる社会」であり、治療を受けながら仕事や社会生活が出来ることを理解させる。</p> <p>○がんを治療しながら生活している人がいることにも触れ、共生への意識を高める。</p> <p>○インフォームド・コンセントやセカンドオピニオンの意義についても触れる。</p> <p>◆関心・意欲・態度（観察） 話し合い意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>◆思考・判断 理解したことをもとに、予防、検診、治療について自己の生活と結びつけて考えることができる。</p>
---	--

【令和元年度高等学校モデル校 指導案】

<p>ま と め</p> <p>12 分</p>	<p>学習したことを振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>発問：がんを予防するために①「今できること（家族にできることも含めて）」②「大人になってできること」を考えよう。</p> </div> <p>(1) グループで話し合い、ワークシートの7にまとめる。</p> <p>(2) 発表を行う。</p> <p>(3) 本時の感想（疑問に思ったことや調べてみたいことなど）をワークシートの8に記入する。</p> <p>(4) 発表を行う。</p> <p>「正しい知識を持つこと」と「自分にできることは何かを考えること」の大切さを確認する。</p>	<p>○本時の学習を振り返り、再確認する。</p> <p>○今できること（家族にできること含め）や大人になってやるべきことは何かを考えさせる。</p> <p>○考えた事や調べたい事を記入させる。</p> <p>○「がんとともに生きる社会」の一員として、正しい知識を持つことと自分にできることは何かを考えることで共生について考えさせる。</p>
--------------------------------------	---	---